

志望者やその保護者
に、ありのままの姿を見
せようとする大学があ
る。

「うちの大学は忙しい。実
験や実習が多くて、夏休みは
1、2週間しかないが、その
分将来への不安はない」

「おしゃべりしてブランド品
を持って、というような女子
大のイメージは全くない」

埼玉県坂戸市で女子栄養大
学のオープンキャンパス（見
学会）が行われた7月26日、
大教室の教壇で、オレンジ色
のTシャツを着た学生2人が
マイクを握った。3年の高瀬
麻梨香さん（20）と2年の秋山
加奈さん（20）。教室には、志
望者の保護者は約200
人が集まった。

司会役の染谷忠彦常任理事
（65）が「駄目なところを言っ
ていいんだよ」と促すと、2
人とも「学費が高いところで
すね」と苦笑いを
浮かべた。保護者
からは「1週間の
時間割は？」、「生



教育ルネサンス

No.901

キャンパス探訪 4

自信があるから素の姿

「活費はどうしているか」とい
った質問が飛んだ。

保護者対象の説明会で、学
生が大学生活について話す取
り組みは昨年からはまった。

「キャンパスに来て保護者は
何を見て真実と感じるか。学
生にありのままに話させるの
が一番いい。業者が入る形態
が増えているが、それは着飾

った姿。手作りでそのまま見
せればいい」と染谷さん。2
人とは話す中身について事前
に打ち合わせもなかった。

＊

2007年の管理栄養士
の国家試験合格者は223人
で全国トップ、臨床検査技師
も52人が合格した。養護教諭
や家庭科教諭の採用試験対策
を実施するなど、様々な資格
が取得できるカリキュラムを
備え、学生の目的意識は高い。

訪れた親子に好評だったの
が、大学が独自に運営し、健
康管理を重視する食堂でのラ
ンチだ。もちろんメニューは
普段と変わらない。この日の
人気メニューは、サバのから
揚げサルサソース、きんぴら
ごぼう、胚芽米ごはんだった。

ありのままを見せると同時
に大学側が重視するのが保護
者へのアドバイスだ。保護者
説明会では、染谷常任理事が
「過保護になりすぎないで。
少子化時代の今は学校の先生
でなくて、最後は親の助言が
重要。過去の経験にプラスし
て今の大学がどうなっている
かを知り、子供に助言して下
さい」と語りかけ、オープン
キャンパスを親子別々で見学
することや、普段の大学の様子
を見学することを勧めた。



親子連れが目立つ女子栄養大。食
堂のメニューも普段と変わらない

管理栄養士 大学・短大の学科や専攻など、厚生労働相
指定の養成施設を卒業すると、都道府県知事から免許が
交付される栄養士に対し、管理栄養士は国家試験に合格する
必要がある。病院の献立作りは栄養士も出来るが、保険診療
での栄養食事指導は、管理栄養士が行う。養成施設は、中村
学園大（福岡）、武庫川女子大（兵庫）など112校にある。

入学定員約6000人の小さ
な大学のオープンキャンパス
に、昨年度は8日間で計約5
500人が訪れた。今年も9
日間に増やしたが、取得でき
る資格の説明や、職員や教授
学生による個別相談が中心
で、派手な催しはない。料理
と皿のコーディネートなど体
験セミナーはごくわずか。予
算は、学生へのアルバイト代、
配布資料代など約500万円

素朴なオープンキャンパス
の裏に、大学側の自信がうか
がえた。
（石田浩之、写真も）